

市長・教育長の

施政方針演述に 対する質問

Q & A 【抜粋】

市長に対する質問



演述する小沢市長

質問 新市立病院の建設について、市民や病院で働く医師、看護師、職員等の方々のために、このような病院を建てるという市長の考えを示すべきではないか。

答弁 10年先、20年先を考えた時に、市立病院の存在は市民の安心につながり、必要不可欠と思っている。市民の希望がかなう病院を建てることで、病院で働く皆様にとっても大きな力になると思う。

質問 この地域で、安心してお産ができる体制を作ることが最大の課題ではないか。

答弁 産科医療は日本全体として大きく変化している。日本産婦人科学会の方向性を考えても現状は厳しい。市としてできることを見定めていきたい。

質問 市立病院の着工年度など、スケジュールはどうなるのか。

答弁 当初のスケジュール通りには進んでいない。医療の関係者から賛意を示されていない。これからの医療のあり方、県との連携などの議論が不足しているという指摘について、議論を尽くし、前に進めていきたい。病院は必要であり、できるだけ速やかにとの思っているが、いつまでにと今の時点では言える状況にはない。

質問 全国において、児童生徒の連れ去りの事件が起きている中で、市においても危険な事案が起きている。防犯という点を伺う。

答弁 まちぐるみで安心できる体制を作っていく必要がある。様々な機関と連携を取り、情報を発信し、共有することが大事である。

質問 地区振興会に対する支援の強化について伺う。

答弁 次年度予算の予算になってくると思

うが、まちづくり交付金などの充実を考えていきたい。どのような支援が良いか、話し合っていきたい。

質問 地域会議の意見をいかに市政に反映させるのか。

答弁 ただ聞き置いたため、ただ説明をするための会議ではない。市政に反映させる方法を共に考えていきたい。協働のまちづくりをより充実させるためにも有効な形を作っていきたい。

質問 市民との対話の場が少なくなってきたのではないか。

答弁 様々な手法を講じながら進めてきている。形骸化しないように心掛けていきたい。

質問 ILCプロジェクトの中で、外国人の受け入れ体制の整備について伺う。

答弁 国際交流協会が行っている医療通訳などを取り入れていきたい。ワンストップサービスの研究なども考えている。案内板の多言語化についても、各部署と協力しながら進めていきたい。

質問 カラーガード隊（マーチングバンド）の新設について伺う。

答弁 消防庁からの委託事業であり、